

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170700175		
法人名	医療法人 天心堂 志田病院		
事業所名	グループホーム さくら荘		
所在地	佐賀県鹿島市大字中村2191-2		
自己評価作成日	平成25年11月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年12月12日	外部評価確定日	平成26年1月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念にもあるように、利用者とのふれあいを大切に、生きる喜びを共有し、常に笑顔で、安らぎのある生活が送れるように支援している。家族様の面会時には必ず日常の状況や健康面の事などをこまめに報告し、特変時には電話などで報告している。継続的に家族会を行い楽しい一時を一緒に過ごして頂く様に工夫し、家族様との関係作りにも力を入れている。さくら荘は、10周年を迎え、利用者様の高齢化・介護度の重度化があるも、その中でGHらしい介護ができなかと日々考え、ドライブや行事等も積極的に行っている。医療面では当法人の医療スタッフと連携をとりながら対応できているため、介護と医療が同時に提供できることが家族様がさくら荘を選んで頂いている一番の理由のようである。その為にも職員は個々のスキルアップの為に勉強会に参加している。地域密着型ということで地域の方との交流にも力を入れ、よく声をかけて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホームさくら荘は、地域とともに歩んできた医療法人が、地域に還元できることを願い開設されたホームである。法人の理念である「地域に安心と豊かさを」に基づき、ホーム独自の理念にも、「地域に溶け込み、地域に根差すグループホーム創りに努めます。」と掲げているように、医療、介護を兼ね備える法人が一体となり、地域を支えまた地域からも支えられているのが日常の交流からも窺える。また家族との関わりを大切にし、家族会の開催や行事案内等も積極的で、この10年間の実績が家族との信頼関係に繋がっているのが感じられる。質の向上を目指し、法人内委員会での業務改善や法人内外の研修会への参加等、職員育成も充実している。
1/11

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 自己	外部 外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F)	自己評価／ユニットB(2F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念に有る様に地域に安心と豊かさをふまえ、さくら荘独自の理念をつくり、毎朝朝礼時に唱和し、その実現に日々精進している。	運営理念に有る様に地域に安心と豊かさをふまえ、さくら荘独自の理念をつくり、毎朝朝礼時に唱和し、その実現に日々精進している。	法人の理念に基づき、ホームでも理念を作り朝礼時に唱和することで共有し、家庭的な雰囲気や笑顔での関わり等、会議で話し合ったり、日常の関わりの中で管理者が指導、助言している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域自治会の一員として回覧板を回して頂き、こちらの行事の案内等もさせて頂いている。また地域の行事に参加したり、法人の行事に参加してもらっている。	地域自治会の一員として回覧板を回して頂き、こちらの行事の案内等もさせて頂いている。また地域の行事に参加したり、法人の行事に参加してもらっている。	自治会に加入し、回覧板にホームの行事案内をし、入居者と一緒に回覧板を届けることも、交流に繋がっている。又入居者と職員が地域のごみ収集作業をしたり、公民館掃除の担当もしている。法人全体で地域に溶け込もうとする意識が高い。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内の出張健康教室の開催の中で職員も参加し、情報共有の場としている	法人内の出張健康教室の開催の中で職員も参加し、情報共有の場としている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し、生活状況や行事などをスライドで紹介している。また意見を聞いたりお願い事をしている。	2ヶ月毎に開催し、生活状況や行事などをスライドで紹介している。また意見を聞いたりお願い事をしている。	会議には区長、民生委員の他近隣住民に参加してもらい、定期的に開催している。家族代表も参加し、法人の役職者等は意見を聞く機会と捉えている。これまでも避難訓練の協力や地域交流等サービス向上に繋がっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の場で情報交換したり、勉強会をお願いしたりしている。GH交流会は市役所の会議室を借りて行っている。	運営推進会議の場で情報交換したり、勉強会をお願いしたりしている。GH交流会は市役所の会議室を借りて行っている。	市役所でグループホームの会議や交流会を行い、市の担当者に講師を依頼するなど、定期的に情報交換する機会がある。運営推進会議でも施策担当としての意見をもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会を実施し、身体拘束とはどういうものかなどを理解し、拘束をしないケアを実践している。危険性がある場合は医療安全委員会等で検討している。	身体拘束の勉強会を実施し、身体拘束とはどういうものかなどを理解し、拘束をしないケアを実践している。危険性がある場合は医療安全委員会等で検討している。	法人内の身体拘束廃止委員会にホームの職員が配置され、検討会に参加している。ホームでも勉強会を実施し拘束しないケアに繋げている。玄関にはチャイムをつけ、施錠は夜間のみとしている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施し、入浴時等体に異変がないかなど注意を払っている	勉強会を実施し、入浴時等体に異変がないかなど注意を払っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在活用されるような対象者はいらっしゃらない。勉強会を実施していない、対象者が入居された場合、包括に相談出来る様な関係作りはできている。	現在活用されるような対象者はいらっしゃらない。勉強会を実施していない、対象者が入居された場合、包括に相談出来る様な関係作りはできている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	病状が悪化し入院治療が必要な場合主治医と家族様、職員と話し合いをもち、さくら荘での生活が困難と判断した場合、納得の上退去とされている。退去後も入院時の洗濯物など出来るだけの協力をしている	病状が悪化し入院治療が必要な場合主治医と家族様、職員と話し合いをもち、さくら荘での生活が困難と判断した場合、納得の上退去とされている。退去後も入院時の洗濯物など出来るだけの協力をしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の定期的なアンケートを実施し、質問や改善点を含め結果を公表している。	年2回の定期的なアンケートを実施し、質問や改善点を含め結果を公表している。	定期的に家族からアンケートをとり、運営や接遇、ケアのありよう等具体的な意見を聞き反映させている。日頃から家族への説明、連絡を密にとり、意見を言ってもらえる関係の構築に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回の定期的なアンケートを実施し、質問や改善案などを聞き、結果を公表している。職員に具体的な案を聞く様なアンケートになっている。	年1回の定期的なアンケートを実施し、質問や改善案などを聞き、結果を公表している。職員に具体的な案を聞く様なアンケートになっている。	職員にもアンケートをとり、運営や業務に関する内容について意見を聞いている。今年度はその改善策を考え記入する内容となっており、質の向上に活かしている。個別の相談は個人面接を行い、希望等を聞いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を年2回実施し、スキル評価を行っている。今年は開設10周年の為、祝賀会を開催。有給休暇もできるだけ取れる様に体制作りを行っている。	人事考課を年2回実施し、スキル評価を行っている。今年は開設10周年の為、祝賀会を開催。有給休暇もできるだけ取れる様に体制作りを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育委員会を中心に法人内で積極的に勉強会を実施し推進している。また個人個人のスキルアップの為にeラーニングの導入で個人的に勉強ができるようなシステムが導入された。	教育委員会を中心に法人内で積極的に勉強会を実施し推進している。また個人個人のスキルアップの為にeラーニングの導入で個人的に勉強ができるようなシステムが導入された。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿島・太良・塩田地区のグループホーム交流会を毎月実施し、情報交換や勉強会を実施している。	鹿島・太良・塩田地区のグループホーム交流会を毎月実施し、情報交換や勉強会を実施している。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面会に行き、本人様と家族様と話をし、要望などを聞く様にしている。事前に見学して頂く様に推進している。また利用開始時にはなるべく寄り添うケアにつとめている。	入居前に面会に行き、本人様と家族様と話をし、要望などを聞く様にしている。事前に見学して頂く様に推進している。また利用開始時にはなるべく寄り添うケアにつとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	担当ケアマネージャーや家族様から入居迄の情報を聞き、家族様の苦労話等にはねぎらいの言葉をかけ、なんでも話しやすいような環境と関係作りに配慮している。また面会時には状況説明を行っている。	担当ケアマネージャーや家族様から入居迄の情報を聞き、家族様の苦労話等にはねぎらいの言葉をかけ、なんでも話しやすいような環境と関係作りに配慮している。また面会時には状況説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリの希望がある場合は医師やPTと相談してリハビリ訓練ができるような環境になっている。また、介護保険以外のデイサービス等の希望が有る場合は家族様と相談して希望を叶えている。	リハビリの希望がある場合は医師やPTと相談してリハビリ訓練ができるような環境になっている。また、介護保険以外のデイサービス等の希望が有る場合は家族様と相談して希望を叶えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	簡単な食事作りや洗濯物たたみを職員と一緒にして頂いている。最近介護度の重度化がすすみ、できられる方が減って来た。	簡単な食事作りや洗濯物たたみを職員と一緒にして頂いている。最近介護度の重度化がすすみ、できられる方が減って来た。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会を行い、入居者様と家族様の関係が途切れない様に支援している。	家族会を行い、入居者様と家族様の関係が途切れない様に支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所に買い物に一緒に行ったり、地域行事に参加したりしている。	近所に買い物に一緒に行ったり、地域行事に参加したりしている。	生活歴を聞いたり、日常の話の中で馴染みの人や場所を知り、電話を掛けたり、面会依頼するなど関係が継続できるよう支援している。個別の希望で自宅やお寺参りなどは家族の協力を得ることもある。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるだけホールと一緒に居て頂き、会話の取り次ぎをしたりして、コミュニケーションが歩通行にならないようにしている。	なるだけホールと一緒に居て頂き、会話の取り次ぎをしたりして、コミュニケーションが歩通行にならないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院治療の為契約終了された後も、家族様の状況によっては洗濯物の回収・洗濯を継続している。又終了後独居になられた奥様と連絡をとり、遊びにきていただいたり、訪問したりしている。	入院治療の為契約終了された後も、家族様の状況によっては洗濯物の回収・洗濯を継続している。又終了後独居になられた奥様と連絡をとり、遊びにきていただいたり、訪問したりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話の中で本人様の希望や思いを聞き出す様にしている。それをプランに反映している。	日頃の会話の中で本人様の希望や思いを聞き出す様にしている。それをプランに反映している。	理念の中に「話をよく聞き、相手を認め、受け入れ、その人らしさを大切にします」という文言があり、職員はその実践に努めている。意向を伝えられない方には日頃の表情等から察し、家族と協力して把握に努めケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族様やケアマネージャーに話を聞き生活歴や家族関係など情報収集し把握に努めている。	入居前に家族様やケアマネージャーに話を聞き生活歴や家族関係など情報収集し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ユニットの職員は固定とし、顔なじみの関係をつくり、個々の状態把握に努めている。新しい発見や特変時などは日誌に記入し職員全員が把握するように心掛けている。また月1回のカンファレンス時に報告している。	ユニットの職員は固定とし、顔なじみの関係をつくり、個々の状態把握に努めている。新しい発見や特変時などは日誌に記入し職員全員が把握するように心掛けている。また月1回のカンファレンス時に報告している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6ヶ月に1回職員・医師等が参加しケアプラン検討会を実施している。家族様の参加がないときは事前に要望を聞きプランに反映している。医師が参加出来ない時には事前に訪問診療時に聞きプランに反映している。	6ヶ月に1回職員・医師等が参加しケアプラン検討会を実施している。家族様の参加がないときは事前に要望を聞きプランに反映している。医師が参加出来ない時には事前に訪問診療時に聞きプランに反映している。	入居者の介護計画策定期間、また状況に応じ、家族や関係機関が集まり担当者会議を開催している。主治医が参加することで医療面の十分な説明が家族の安心に繋がっている。毎月、モニタリングや評価を行い、家族の理解を得よう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個人の状況の記録とプランの実践状況を記入し毎月モニタリングと評価を行っている。途中状態に変化が生じた際はプランの見直しを行っている。	毎日、個人の状況の記録とプランの実践状況を記入し毎月モニタリングと評価を行っている。途中状態に変化が生じた際はプランの見直しを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入院中は面会に行き、洗濯物の管理を行っている。眼科受診や他病院にての検査受診など家族様が付き添いができないときはこちらで付き添っている。	入院中は面会に行き、洗濯物の管理を行っている。眼科受診や他病院にての検査受診など家族様が付き添いができないときはこちらで付き添っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用は少ない。	地域資源の活用は少ない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に当院のかかりつけでない方には、今までのかかりつけ医でも良いと説明するも、全ての方が病院と併設である事が安心との理由で入居希望したと話され、かかりつけを当院にされている。	入居時に当院のかかりつけでない方には、今までのかかりつけ医でも良いと説明するも、全ての方が病院と併設である事が安心との理由で入居希望したと話され、かかりつけを当院にされている。	かかりつけ医を選ぶ際に、法人の医療以外でも可能であり、受診の支援が出来る旨を説明している。それでも当院を希望されるのは、法人の医師や看護師の協力体制が充実し、入居後の安心につながるからと考えられる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週間に1回の訪問診療とそれ以外にも定期的に訪問して頂き、状態を報告し把握して頂いている。また緊急時の連絡報告の取り決めもあり、対応できている。夜間帯は病棟に連絡し対応して頂いている。	2週間に1回の訪問診療とそれ以外にも定期的に訪問して頂き、状態を報告し把握して頂いている。また緊急時の連絡報告の取り決めもあり、対応できている。夜間帯は病棟に連絡し対応して頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時職員が付き添い看護師に日常の状況を説明する。当院に入院の場合毎日面会し状況把握に努めている。また洗濯物もこちらで行っている。当院以外の入院時も2、3日おきに面会に行っている。	入院時職員が付き添い看護師に日常の状況を説明する。当院に入院の場合毎日面会し状況把握に努めている。また洗濯物もこちらで行っている。当院以外の入院時も2、3日おきに面会に行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化された場合、その時点で主治医と家族様、職員と話し合いをもち、今後の方針を決める。1名さくら荘での看取りを実施した。その場合、家族様への状態報告をこまめに実施し、看護師との連絡も密に行った。現在も希望されている家族様もいらっしゃる。	重度化された場合、その時点で主治医と家族様、職員と話し合いをもち、今後の方針を決める。1名さくら荘での看取りを実施した。その場合、家族様への状態報告をこまめに実施し、看護師との連絡も密に行った。現在も希望されている家族様もいらっしゃる。	重度化された場合の指針を作成し、入居時に説明、同意を得ている。医師を交え段階ごとにホームとして出来ることを伝え、方針を共有している。これまでに1名看取りをした経緯がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内の勉強会に参加したり、さくら荘での勉強会を実施したりしているが、定期的には行っていない。	法人内の勉強会に参加したり、さくら荘での勉強会を実施したりしているが、定期的には行っていない。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っている。避難訓練を実施する際、回覧板にてお知らせし、参加をお願いしている。また、非常連絡網には区長様と近所の方の連絡先を入れている。	年2回の避難訓練を行っている。避難訓練を実施する際、回覧板にてお知らせし、参加をお願いしている。また、非常連絡網には区長様と近所の方の連絡先を入れている。	回覧板や運営推進会議を通じて、避難訓練の実施計画を周知し、協力依頼をしている。ホームの緊急連絡網に近隣の方と区長の名前を載せ、訓練時には駆けつけていただいている。今年の訓練では、非常階段からの避難方法を消防署より指導受けた。また日頃からの訓練として職員に抜き打ちで、火災時の動きを確認することで、緊急時に対する意識を高めている。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴をきちんと把握し、自尊心を傷つけないように配慮している。特に外出時には知人と会われることもあるので、身なりには十分注意しプランにもあげている方もいらっしゃる。	生活歴をきちんと把握し、自尊心を傷つけないように配慮している。特に外出時には知人と会われることもあるので、身なりには十分注意しプランにもあげている方もいらっしゃる。	「相手を認める」ことを大切に考え、職員は入居者の人格を尊重し、温かい言葉と笑顔での対応を心掛けている。定期的に外部からのアドバイスも受け参考にしている。法人のサービス向上委員会では接遇に関する内容も盛り込まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	なかなか自分の思いを表現できる方が少ないが、ケアプラン作成時に希望を伺ったり、日常の会話の中で思いなどを聞き出すようにし、情報をプランに反映するようにしている。	なかなか自分の思いを表現できる方が少ないが、ケアプラン作成時に希望を伺ったり、日常の会話の中で思いなどを聞き出すようにし、情報をプランに反映するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物の希望があるときは、時間調整して付き添うようにしている。なかなか希望が叶える方が少ない。	買い物の希望があるときは、時間調整して付き添うようにしている。なかなか希望が叶える方が少ない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみには十分配慮している。家族様の希望などもありケアプランにも計画をたてて実施している方もいらっしゃる。	身だしなみには十分配慮している。家族様の希望などもありケアプランにも計画をたてて実施している方もいらっしゃる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の重度化に伴い、食事作りのお手伝いが出来る方は少ないが、簡単な皮むき等のお手伝いをして頂いている。後片付けが出来る方も少ない。	入居者様の重度化に伴い、食事作りのお手伝いが出来る方は少ないが、簡単な皮むき等のお手伝いをして頂いている。後片付けが出来る方も少ない。	役割により生活に張りを持ってもらうように、入居者の出来ることに目を向け、下ごしらえ等を手伝っていただいている。曜日により希望のメニューを取り入れたり、気分転換に外食にも出かけている。職員も一緒に同じ食事を、おしゃべりしながら食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量が少ない方は法人内の栄養委員会にて報告し補助食品などのアドバイスを受け取り入れている。水分摂取量が少ない方には飲むゼリーなどを家族様に相談し購入して頂き補給している。	食事摂取量が少ない方は法人内の栄養委員会にて報告し補助食品などのアドバイスを受け取り入れている。水分摂取量が少ない方には飲むゼリーなどを家族様に相談し購入して頂き補給している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA（ 1F ） （事業所記入欄）	自己評価／ユニットB（ 2F ） （事業所記入欄）	外部評価 （評価機関記入欄）	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。口腔ケアの勉強会にも参加し実践している。	毎食後口腔ケアを実施している。口腔ケアの勉強会にも参加し実践している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを知り誘導している。病院からの入居者でトイレ声掛けし、誘導することで、おむつ使用の方が布パンツに変更し、尿意がほとんど戻られた方もいらっしゃる。	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを知り誘導している。病院からの入居者でトイレ声掛けし、誘導することで、おむつ使用の方が布パンツに変更し、尿意がほとんど戻られた方もいらっしゃる。	一人ひとりの排泄状況を把握することで、自立支援の成果も見られている。トイレでの排泄により、表情や言葉に変化がみられ、職員も共に喜び、やりがいとなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が及ぼす影響が大きい事を理解し、常に排便チェックを行っている。下剤の服用と共に、牛乳やバナナ牛乳を飲んで頂くことで、排便につなげている。	便秘が及ぼす影響が大きい事を理解し、常に排便チェックを行っている。下剤の服用と共に、牛乳やバナナ牛乳を飲んで頂くことで、排便につなげている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人様が今日は入りたくないと言われれば、日にちをずらしたりはしているが、曜日や時間帯は職員が決めている。特に希望がある方はいらっしゃる。	本人様が今日は入りたくないと言われれば、日にちをずらしたりはしているが、曜日や時間帯は職員が決めている。特に希望がある方はいらっしゃる。	入浴は、隔日の予定は立てているが、希望があれば毎日でも入ることが出来る。入浴を断られる方へは、ケアや言葉かけの工夫で入っていただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様の希望で居室で休まれる方、畳のところで休まれる方、ソファで休まれる方がいらっしゃる。ベッドからの転落の恐れがある方は居室にマットを敷きその上に布団を敷いて休んで頂いている。	本人様の希望で居室で休まれる方、畳のところで休まれる方、ソファで休まれる方がいらっしゃる。ベッドからの転落の恐れがある方は居室にマットを敷きその上に布団を敷いて休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が処方された際、薬の説明書を毎回頂きケース記録に綴じてすぐに確認できるようにしている。臨時に追加された薬については日誌に内容などを記入し把握している。また、法人の薬剤師による勉強会に参加し知識をえている。	薬が処方された際、薬の説明書を毎回頂きケース記録に綴じてすぐに確認できるようにしている。臨時に追加された薬については日誌に内容などを記入し把握している。また、法人の薬剤師による勉強会に参加し知識をえている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握し、できることをして頂いている。昔編み物をされていた方にはなるだけしていただくように支援している。	生活歴を把握し、できることをして頂いている。昔編み物をされていた方にはなるだけしていただくように支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出、ドライブはなるべく行っている。近くのファミリーレストランにお茶しに出かけている。天気の良い日は散歩などにも行っている。地域の方と協力しての外出はない。	外出、ドライブはなるべく行っている。近くのファミリーレストランにお茶しに出かけている。天気の良い日は散歩などにも行っている。地域の方と協力しての外出はない。	定期的なドライブは計画しているが、その他にも外食や喫茶店へ出かけたり、気候に応じて散歩に出かけている。個別の受診や買い物等入居者の楽しみになっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したいという希望がある方に関しては家族様と相談のうえ持っていたいっている。	お金を所持したいという希望がある方に関しては家族様と相談のうえ持っていたいっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や贈り物が届いたときはお礼の電話をし、直接話していただいている。本人様が電話してほしいとの希望時には電話している。	手紙や贈り物が届いたときはお礼の電話をし、直接話していただいている。本人様が電話してほしいとの希望時には電話している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節感のある花や置物を置いている。正月は正月の飾りつけ、2月はひな人形など。	玄関には季節感のある花や置物を置いている。正月は正月の飾りつけ、2月はひな人形など。	ホールは、窓が大きく明るい陽射しが差し込み、入居者は思い思いに自由に過ごされている。家具は家庭的で、畳の間には炬燵が設置されゆったりくつろげる雰囲気である。キッチンからの料理の香りも生活感が窺える。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーには気の合う仲間同士座って話されている。	ソファーには気の合う仲間同士座って話されている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れたものは持ってきていただくように話するも、あまり持ってこられない。	自宅から使い慣れたものは持ってきていただくように話するも、あまり持ってこられない。	居室にはベッドと整理たんすが設置されている。自宅から使い慣れた椅子等持参されている。家族の写真等飾られ温かく感じられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差はない。ベッドからの転落の危険性がある方は床にマットを敷き、その上に布団を敷いて対応している。	段差はない。ベッドからの転落の危険性がある方は床にマットを敷き、その上に布団を敷いて対応している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない